

限界集落活性化の取り組み

～上野原市西原地区まちづくりの活動～



上野原市役所 都市計画課 中村 慎

上野原市西原地区とは

中央自動車道上野原IC、JR上野原駅どちらからでも車で30分程度にある相模川水系鶴川上流、標高600mの自然豊かな中山間地域にある農山村

昭和40年代には、約2,500人いた人口が現在では600人に満たない地域であり、65歳以上人口が50%を超える。

地元「西原地区」の学校は統廃合により、西原小学校のみとなるが、生徒数は10名程度となる。

西原地域活性化の今

・NPOさいはら

上野原市の最北部に位置する農山村「西原地区」の地域活性化のため、平成22年6月に設立。

現在の会員数は45人。

交流施設「羽置の里びりゅう館」の運営、地域ブランドの開発・製造・販売、都市農村交流イベント、地域福祉サービスなどに取り組んでいる。



活動を始めたきっかけ

東京都・神奈川県など首都圏に近く、中央自動車道上野原インターチェンジもあるという立地でありながら、史跡や伝統芸能といった観光事業の育成や宿泊施設の整備も不十分。平成13年に都市住民との交流の場として建設された「羽置の里びりゅう館」が十分に機能しているとはいえない

状況を変えたいという地域住民の意思や熱意がきっかけとなり、当初は「西原地域活性化協議会」として発足した。



運営体制

理事4名、監事1名、事務局長1名
事務局スタッフ2名

他団体との連携

JICA(国際協力機構)において「一般社団法人あいあいネット」と連携、都市農村交流事業において「しごと塾さいはら(任意団体)」と連携、福祉サービス「元気いきいき教室(介護予防健康体操)」や移住定住促進事業の「農山村地域の空き家紹介」・「古民家再生」の実施においては、市役所と連携している。

活動の成果

地域にある資源を掘り起こし、商品づくりをしてきた。加工品の販売を通じて市内外に発信をしてきたため、ある程度の認知もされてきた。近年は地域住民（特に高齢者）を対象とした事業を展開し、地域貢献を果たしている。



成功の要因

地域をより良くしたいという地域住民が地域外の人材や行政と連携して、ともに事業に取り組んでいること。

活動を通じて学んだこと、得たこと

地域の中心となる施設は必要。ただし、場所があるだけでは何も起こらないため、地域住民がNPO法人を立ち上げ、移住者や市内外の交流者、行政とともに活動し、何かを実際に動かす人材や団体、官民関係が大切である。

今後の展開

人口減少が大きな課題であるため、移住者促進、交流人口の増加を目指す。

現状の課題点

NPOの事業を運営するスタッフ・人材が不足しているいるが、雇用するほどの資金力がないため、実施したいと考えている活動が出来ないでいる。

ボランティアとしてでは限界があるため、仕事としてNPOの事業を行えるようにしていくことが大きな課題である。

他団体との連携の内容

古民家再生と広域体験観光によるやまなしアプロー地
～遊ぶ・学ぶ・暮らす～事業

平成28年度、国の地方創生加速化交付金を活用する中、上野原市や小菅村と協働し、地域を元気にする取り組みを行っている。

体験観光分野、古民家再生分野、移住促進分野の活動を行い、交流人口の増、滞在拠点の創出、移住者の増を目指す。

移住定住促進事業

平成27年10月より上野原市の移住定住促進事業を受託。
(空き家情報収集、移住希望者からの相談及びコーディネート等)

認知症予防カフェ「かいこや」

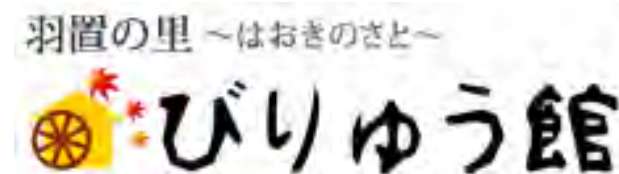
平成27年6月より認知症予防カフェ「かいこや」をびりゅう館会議室にて月に一度開催。

作業療法士や保健師、帝京科学大学の学生などとお話
ができ、気軽に参加できるカフェ、サロンを目指している。

介護予防「元気いきいき教室」

平成26年10月より介護予防サービス「元気いきいき教室」を、びりゅう館会議室で3か月を1クールとして、健康体操や体力測定などを行っております。

これは、国土交通省「小さな拠点づくり」調査の補助金を受け、成立されたものです。



「羽置の里 びりゅう館」の運営

平成24年4月1日より上野原市より「羽置の里びりゅう館」の指定管理を委託されました。

古民家再生ワークショップ

ボロボロだった築150年の古民家を再生させて、農林業体験宿泊施設を作る。

職人さんから、昔ながらの家の直し方を教わるなどの体験を通じて都市農村交流を図る。



古民家ゲストハウスワークショップ

山梨県 上野原市 西原

西原ife体験宿・したでHP
sitaday.com

ただ今、改修中!
参加者募集!

したでとは?
山梨県上野原市西原地区で、空き家だった築150年もの古民家。「したで」はこの家の番号。この古民家を、草刈り体験やお話し研修の受け皿として農林業に関心のある方に活用し、改修を行っています。

これまでの改修の歩み
2016/4/29 古民家清掃イベント!
5/7 土間仕上げ作!
6/19 竹小舞体験ワークショップ!
6/29 障子デザイン作分製体験ワークショップ!

これからの予定 ※各日9:30〜16:00の予定です

- 7/4 (月) 床板を製材しよう!
- 7/16 (土) 上構式体験、小さな小屋を建てよう!
- 7/17 (日)〜18 (月) 蒸塗り大合宿!
- 7/23 (土) 床板張り体験!
- 7/24 (日) きらめ樹お話し会 & 体験会!
- 8/20 (土) 中塗りワークショップ!
- 9/17 (土)・18 (日) 土塗りの仕上げ!
- 10/15 (土)・16 (日) たま作り&コンポストづくり!
- 11/12 (土)・13 (日) はたけつとまーけつとにて

西原ife体験宿・したで完成披露イベント!

★こんな人におすすめ★ 古民家に興味のある方、田舎暮らし希望の方

ワークショップお申し込みは ▶▶▶ ECOMまで

下記事項をご入力の上、ECOM事務局までメールでお申し込みください。
①氏名(漢字) ②氏名(カナ) ③年齢 ④イベント当日の現地までの交通手段 ⑤ご住所 ⑥携帯電話番号 ⑦メールアドレス
E-mail 送り先 ngo-ecom@gaea.ocn.ne.jp

主催: NPO法人さいはら / NPOエコ・コミュニケーションセンター



西原ife体験宿・したで ~改築のこだわり~

- 新建材を使わず、なるべく家の周りから材料調達!
- 石積みや柔(やわら)構造を活かし、伝統木工法にて再生中!
- 薪ボイラーや移動式製材機を導入山の再生にも取り組みます!
- 地域住民とまちの人と交流しながら改築!

本館から日本各地の木材が、工場直送で届きます。お話し研修の受け皿として活用し、改修を行っています。

薪ボイラーや移動式製材機を導入山の再生にも取り組みます!

地域住民とまちの人と交流しながら改築!

森田千史さん
長田容子さん

古民家・したで周辺散策マップ

小幡川
二宮神社
藤尾地区
管理人家
お花の散歩道(予定)

上野原からバス(バス停)10分
上野原から徒歩10分
上野原から徒歩10分
上野原から徒歩10分
上野原から徒歩10分

WELCOME TO 西原ife 体験宿 したで

八王子から1時間というアクセスのいい山梨県上野原市西原地区。

- 空き家だった古民家を、地域に眠る材木・土・人材を活かしながら、ワークショップ形式で再生し、2016年12月24日に、農林業体験宿泊施設としてOPEN予定。
- 土づくりや竹の加工から始める土壁ワークショップや木の伐採から始まる移動式製材機を使った床板づくり、薪ボイラーの露天風呂などを作るなど、上野原市の自然豊かな環境を活かし、伝統工法で、古民家再生をはかっています。
- 発起人は、元移住者。
- 農家民宿を開くことを夢見て、10年前に23歳で古民家におんなな単身移住。
- 3年後、地元の25歳年上の大工さんとスピード結婚。
- その後、日影対策で伐った杉山の跡地に、近所の有志で四季を通じて花を楽しめる丘をつくることに。
- 休める場所として、ボロボロの古民家を体験宿にするプロジェクトがスタート。移住促進につながる、まちとむらをつなぐことを目標に、伝統工法による古民家再生ワークショップが始まった。
- まちとむらをつなぐ、NPO法人エコ・コミュニケーションの森良さん、古民家の伝統木構法こそ、未来へつなぐべき財産と謳う一級建築士・森田千史さん、地元をこよなく愛する上野原市西原の藤尾地区のみなさん(中には大工さんが二人も！)、より魅力的な上野原にするため、移住促進や仕事づくりの応援をする行政、西原地域の活性化のため立ち上がったNPO法人さいはら、昔から引き継がれている手しごとや暮らしを学ぶために首都圏と西原を行き来するしごと塾さいはら、そして、長年の夢を叶えるべく人と人をつなぐ、元移住者で今は移住コーディネーターの子育てママ。
- たくさんの「想い」がつながって、古民家再生ワークショップは生まれました。



都市農村交流事業「しごと塾さいはら」 ～さいはらの手仕事を学ぶ・手伝う・伝える～

月に一度、まちからむらへ通い続けるきっかけ・しかけづくり」に取り組む。

西原の昔から残る文化や農作業を学びに、農村体験などを行う。

通い続けるうちに、すっかり西原は第二のふるさとに感じていただき、西原を好きになってもらう。

このプロジェクトがきっかけで西原への移住者も出ています。

「しごと塾さいはら」の主な活動

畑の土起こし、乗馬体験、在来種のジャガイモの植え付け・土寄せ・収穫、わさび田ハイキング、里山散策わらび採り、お茶作り体験、大豆苗の定植・土寄せ・収穫・脱穀・選別・乾燥、サツマイモ苗の定植、つる返し・収穫、ピザ窯で焼く新鮮野菜のピザランチ、草むしり、そばの種まき準備・種まき・土寄せ・草取り・収穫・脱穀・選別・乾燥・石臼で粉挽き・そば打ち、西原の清流で川遊び、栃もち作りを学ぶ、西原の伝統行事「藤尾獅子舞」と「古在家神楽舞」の見学、西原ふるさと祭りのお手伝い及び出店、冬ぶせ（鍬で畑の天地返し）、竹伐り（冬の手仕事の準備）、堆肥づくり・落ち葉掃き、味噌作り、竹かごづくりなど

※毎回、都市と農村をつなぐしごとをしている様々なゲストのお話を聞き、

都市と農山漁村の交流について考えるセミナー実施

※池袋まちむらカフェ「しごと塾」の第2期 4回目「やりたいことをカタチにする」(2010年7月7日開催)で生まれたプロジェクト



しごと塾さいはら

しごと塾 さいはら 通信

しごと塾
さいはら
プロジェ
クト発行

秋も深まり、冬の足音が聞こえるようになりました。冷え込みや日の短さに負けず、しごと塾さいはらメンバーは、そばの収穫や焼酎プロジェクトのサツマイモ掘りなど、実りの秋を満喫しています。さらに西原ふるさと祭りに出店して地元の方との交流を深めたり、山のおばあに里芋の掘り方食べ方を学んだり、今号のさいはら通信も、しごと塾の活動を通して西原の魅力を味わった活動内容が満載です。

そばやサツマイモを収穫！

西原ふるさと祭り、焼酎プロジェクトにも参加 地元の方と交流深める

焼酎プロジェクトのイモ掘り 前哨戦

【活動日】 10月8日(土)

【参加者数】 5人

今日は焼酎プロジェクトの芋掘りと西原ふるさとまつりを翌日にひかえた前夜祭の日です。

しかし西原へ向かう道中は車のワイパーも効かないほどの土砂降り。イモ掘りはおろか、祭りの準備さえどうなるものかと半ばあきらめモードでびりゅう館へ到着。昼食を食べつつ、前日がお誕生日だった太郎さんにみんなからケーキのプレゼントをしました。



太郎さん、お誕生日おめでとう！！

ケーキに舌鼓をうっていると、なんと雨が止み晴れ間が！ 雨後すぐに畑に入るのはあまりよくないことですが、せっかくなのでイモ掘り決行です！

まず黒マルチを外します。それから長く伸びたサツマイモのツルを切り、株の根元を慎重に掘ると、白っぽいイモが見えてきました。次々と掘り出されるイモは焼酎用の黄金千貫。サツマイモらしからぬ白い色。私は初めて見る種類だったので、そのイモ

の色と大きさにびっくりしていると、他のメンバーからの「これは小さい方だ」の声に再度びっくり。

この日は祭りの準備があるため収穫作業はほどほどで切り上げ、残りは後日焼酎プロジェクトの方々で行うことになりました。ほんの数時間の作業でしたが、思わぬ晴天にみな汗だくになりました。



マルチをはいでツルを切ってから掘る

「しごと塾さいはら」とは…

しごと塾さいはらは、西原地域の暮らしや手しごとを体験したい、学びたいと思った都会の人たちの集まりです。メンバーは東京、神奈川、埼玉、千葉とさまざま。

月に1度西原を訪れて、そばや大豆、ジャガイモなどを育てながら、手しごとを学び、手伝い、地元の皆さんと交流し、自分たちが感じた貴重で楽しい体験を伝えていきます。

都会の人たちへは西原というステキな地域があること、自分たちでつくる喜びを、西原の人たちへは私たちがみつけた西原の魅力を伝え、日々の暮らしの豊かさを共有していきたいと思っています。(しおじ)